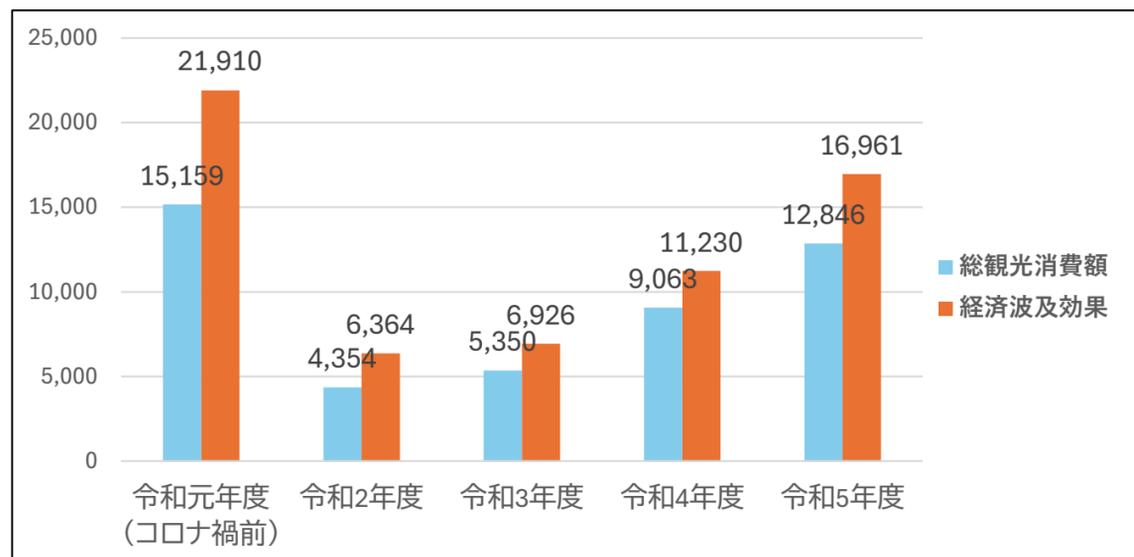


北海道観光機構では、道内の観光地を訪れる観光客の満足度や道内観光産業の経済効果を把握するため、北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査を実施しています。

今回、令和5年度の調査結果【確定版】がまとまりましたのでご報告いたします。

1. 概要



■総観光消費額:1兆2,846億円
 前年度比: +3,783億円、141.7%
 令和元年度比: △2,313億円、84.7%
 ■経済波及効果(生産誘発額):1兆6,961億円
 前年度比: +5,731億円、151.0%
 令和元年度比: △4,949億円、77.4%
 ※令和2～4年度は国内観光客の観光消費額に基づく(外国人計測は無し)

2. 新型コロナウイルス感染症による影響について

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に5類感染症に移行し、海外からの渡航制限など各種の規制、自粛が緩和された。本年度調査では令和2年度以降中断していた外国人観光客への調査を再開し、本格的な“ポストコロナ”の観光動向を探った。尚、北海道にとって最大需要国であった中国は、令和5年8月に日本への団体旅行を解禁したが、本格的な訪日旅行回復とはなっていないことを注記する。

道外客需要は総観光消費額の35.4%(4,541億円)を占めている。外国人需要は総観光消費額の25.0%(3,210億円)を占め、北海道観光への寄与は大きい。但し、前述のように外国人入込客数は回復途上にある。

総観光消費額や経済波及効果は増加し、いずれもコロナ禍前の令和元年度に水準に向け(84.7%、77.4%)回復傾向がみられる。

3.まとめ(令和4年度との比較)

- (1)道が令和6年9月に公表した令和5年度における本道の観光入込客数4,777万人と前年度を比較すると13.0%伸びている。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことや、令和5年に開業した北海道ボールパークFビレッジの効果などもあり、コロナ禍前である令和元年度の観光入込客数に近づいている。
- (2)外国人観光客への調査はコロナ禍に伴い令和2年度以降実施していなかったが、本年度から再開した。外国人入込客数はコロナ禍前(令和元年)の75%まで近づき、本年度道内観光消費の1/4(3,210億円)を占めるなど、改めて経済効果へのインパクトは大きいことが確認された。今後のさらなる回復が期待される。

<調査の概要(令和5年度北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査)>

- 目的:①国内観光客(道内客・道外客)、外国人観光客の観光・旅行の概要や北海道観光への期待度、満足度を把握し、今後の観光振興策の指針を得る。②旅行予算を把握し、北海道観光がもたらす地域経済への波及効果を推計する
- 方法:全調査地点に調査員を配置し、アンケート回答の依頼と回収を行った。回答は主に「自記入法」(その場で回答者自ら記入し、その場で調査員が回収する)としたが、回答者の希望により「面接聴取法」も併用する。
- 調査地域:全道80市町村で、103か所の調査地点を設定。このうち、「交通結节点」は11か所(空港、港)
- サンプル数:有効回答数4,529件を取得(内訳:道内客1,638、道外客1,713、外国人1,178)
- 項目:プロフィール(居住地、年代、職業、年収等)、旅行形態(日程、人数等)、旅行内容(消費額、観光ルート等)、期待度・満足度等
- 時期:令和5年7月8日～令和6年2月15日

<<上記の内容で調査を実施した結果、下記の消費額を算出>>

消費額:一人当たり単価(内訳:交通費、宿泊費、飲食費、買物代、娯楽等サービス費、その他)

単位:円

年度	道内客		道外客		外国人
	日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	
令和5年度	6,497	32,398	18,385	91,518	137,180
令和4年度	7,815	30,470	16,090	81,182	—
増減	▲ 1,318	1,928	2,295	10,336	—
参考:令和元年度	8,120	32,594	70,773 ※		138,778

注)本消費額単価はアンケートで回答を得た単純集計による消費単価ではなく、パッケージ料金に含まれる飲食、宿泊、交通費等の道内留保分も含めた「経済波及効果(推計)」に用いる最終投入単価の数値である。

※令和元年度の道外客については日帰り・宿泊の区別をしていない。

①総観光消費額

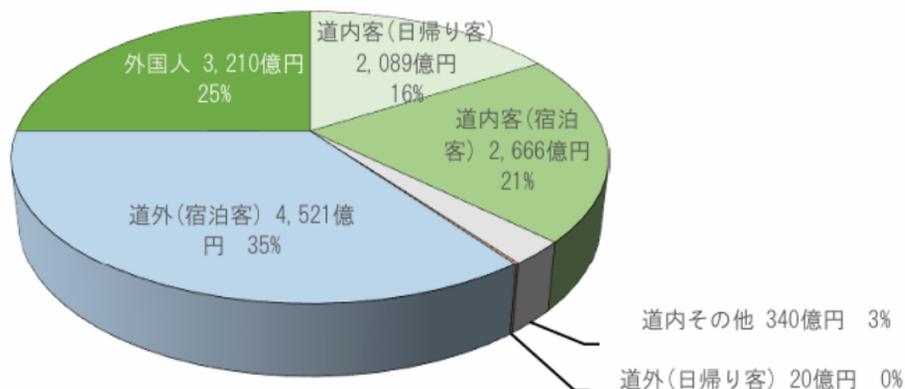
		道内客				道外客			外国人	合計	
		日帰り客	宿泊客	その他	合計	日帰り客	宿泊客	合計			
a	年間観光客数	R5年度	3,215万人	823万人	214万人	4,252万人	11万人	494万人	505万人	234万人	4,991万人
		R4年度	2,913万人	843万人	90万人	3,846万人	12万人	392万人	404万人	69万人	4,319万人
		増減	302万人	▲20万人	124万人	406万人	▲1万人	102万人	101万人	165万人	672万人
b	道内観光消費額単価(推計用調整値)(1人)	R5年度	6,497円	32,398円	15,853円	-	18,385円	91,518円	-	137,180円	-
		R4年度	7,815円	30,470円	15,853円	-	16,090円	81,182円	-	-	-
		増減	▲1,318円	1,928円	0円	-	2,295円	10,336円	-	-	-
c	道内観光総消費額(a×b)	R5年度	2,089億円	2,666億円	340億円	5,095億円	20億円	4,521億円	4,541億円	3,210億円	12,846億円
		R4年度	2,277億円	2,569億円	143億円	4,988億円	19億円	3,182億円	3,202億円	874億円	9,063億円
		増減	▲188億円	98億円	197億円	107億円	1億円	1,339億円	1,340億円	2,336億円	3,783億円
構成比(%)	R5年度	16.3%	20.8%	2.6%	39.7%	0.2%	35.2%	35.4%	25.0%	100.0%	
	R4年度	25.1%	28.3%	1.6%	55.0%	0.2%	35.1%	35.3%	9.6%	100.0%	

注)年間観光客数の算出方法について

- ・観光入込客数は「北海道観光入込客数調査報告書(令和5年度)(北海道経済部観光局)」に基づき、道内客は日帰り客(3,215万人)と宿泊客(823万人)を合わせた4,038万人に、「その他=道民の道外・海外への旅行」(214.4万人)を加えた総約4,252万人とした。
- ・道外客は日帰り客(11万人)と宿泊客(494万人)を合わせ約505万人、外国人客は234万人とした。
- ・総計は約4,991万人である。

- ※1)道内客の「その他」は道外や海外への旅行に関わる旅行消費であるが、今回の事業では調査対象となっていない。このため、今回調査では「2019年調査値」で設定した。
- ※2)道内観光消費額単価は北海道来訪者満足度調査より引用

※四捨五入の関係で各項目と合計額が一致しない場合がある



【道内観光消費額内訳】

②観光による経済波及効果

○総観光消費額1兆2,846億円による経済波及効果の推計結果

経済波及効果は1兆6,961億円となったが、外国人調査を実施していない前回より約5,700億円増大している。コロナ禍前の令和元年度と比較すると、あと5,000億円程度の差がある。

	経済波及効果(生産誘発額) 単位:億円	新規雇用者誘発数 単位:万人
令和5年度	16,961	15.1
令和4年度	11,230	10.5
増減	5,731	4.6
増減率(%)	51.0%	43.8%
参考:令和元年度	21,910	21

注)観光消費による経済波及効果(生産誘発額)は総額1兆6,961億円と推計され、その内訳は(その他の道外観光行動含む)道内客6,639億円、道外客6,027億円、外国人客4,295億円で構成される。経済波及効果の構成は、直接効果9,592億円(道内客3,774億円、道外客3,410億円、外国人客2,407億円)と、第一次間接効果4,526億円(道内客1,724億円、道外客1,609億円、外国人客1,194億円)、第二次間接効果2,843億円(道内客1,141億円、道外客1,008億円、外国人客694億円)の合計額からなる。なお、四捨五入の関係で各項目と合計額が一致しない場合がある。

<本件に対するお問い合わせ>

HTO(公益社団法人北海道観光機構) マーケティング・DX 部
若月 k_wakatsuki@visithkd.or.jp
札幌市中央区北3条西7丁目1-1緑苑ビル1F
電話:(011)231-0941

